



陸上インカレ
40年ぶり男子リレー 2冠！

クライミングW杯 五輪王者を抑え
森 秋彩 3連勝！



男子4×100mリレー優勝



男子4×400mリレー 13年ぶり優勝



森 秋彩 (体育1)



ラートインカレ
団体 5連覇



全日本大学対抗テニス
女子 準優勝

TOPICS

【女子バレー】佐藤淑乃 (体育3) 世界選手権出場5位
【男子ラグロス】種村魁 (体育4) U21世界選手権5位
【競泳】インカレ 間島亮太郎 (体育4) 100m平泳ぎ初V
飯塚千遥 (体育4) 100mバタフライで2連覇

【体操競技】インカレ団体女子2位、男子6年ぶり表彰台
【柔道】インカレ体重別 平野友萌 & 米川明穂 準V
【ホームゲーム】硬式野球部と筑波ファンが心をついに
【箱根駅伝予選】15位で突破ならず、連合チーム選出

(写真) 左下：体操部、右下：硬式庭球部

アーチェリー

第1回ドリムカップ

リカーブ男子・個人戦

野村 遙 (資源2)	ベスト8
高見 勇策 (物理2)	決勝2回戦敗退
三上 陽彦 (人文2)	決勝1回戦敗退

男子アイスホッケー

関東大学アイスホッケーリーグ戦 Div.II

現在、2勝0分1敗

アメリカンフットボール

関東大学リーグ戦<1部BIG8>

現在、0勝3敗

オリエンテーリング

世界大学オリエンテーリング選手権

小牧 弘幸 (M2) 男子スプリント37位、ロング54位、
スプリットリレ10位、フォレストリレ13位
永山 遼真 (体育4)

大栗 由希 (M1) 女子スプリント79位、ロング63位
ミドル79位

全日本オリエンテーリング選手権

男子選手権クラス
小牧 弘幸 (M2) ミドル優勝、ロング3位
永山 遼真 (体育4) ミドル2位、ロング4位
女子選手権クラス
樋口 佳那 (資源2) ロング6位

空手道

第65回関東大学空手道選手権大会

男子 初戦敗退
女子 初戦敗退

弓道

関東学生選手権北関東ブロック1部リーグ

男子団体 4勝0敗、決勝大会進出
女子団体 3勝1敗、決勝進出ならず

剣道

第61回全日本女子剣道選手権大会

河合 芳奈 (静岡代表/体育2) ベスト8
笠 日向子 (茨城代表/体育2) 3回戦敗退
岩本 瑚々 (長崎代表/体育2) 3回戦敗退
*上記3名が優秀選手に選出

第71回関東大学剣道優勝大会

決勝 ○筑波大 - ●日本体育大
よって、優勝



第48回関東女子学生剣道優勝大会

準決勝 ●筑波大 - ○法政大 よって、第3位

硬式庭球

全日本学生テニス選手権大会

男子シングルス
田中 佑 (体育1) ベスト8
石橋 元晴 (体育4) 3回戦敗退
守谷 岳 (体育3) 2回戦敗退

男子ダブルス

石橋 元晴・中村 元 (体育4/体育2) 2回戦敗退
守谷 岳・田中 佑 (体育3/体育1) 2回戦敗退

女子シングルス

照井 妃奈 (体育3) ベスト8
塚田 結 (体育3) 3回戦敗退
中山 友里 (体育2) 3回戦敗退
西尾 萌々子 (体育1) 2回戦敗退

女子ダブルス

川出 莉子 (体育3)・吉本 菜月 (体育1) 2回戦敗退
西尾 萌々子 (体育2)・毛呂 彩音 (体育2) 2回戦敗退

関東大学テニスリーグ

男子2部 3勝0敗、第3位 (1部昇格ならず)
女子1部 4勝1敗、第2位

*全日本大学対抗王座決定試合出場権獲得

全日本大学対抗テニス王座決定試合

女子決勝 ●筑波大 2-3 ○慶應義塾大
よって、準優勝

硬式野球

首都大学野球秋季リーグ戦1部

現在、6勝4敗

男子サッカー

時之栖サッカーフェスティバル2022

～大学サッカー東西交流戦～

筑波大C1 (4軍) 優勝
筑波大C2 (5軍) 第3位

第96回関東大学サッカーリーグ戦1部

現在、6勝4分5敗、7位 (12校中)

女子サッカー

第36回関東大学女子サッカーリーグ1部

現在、4勝3分11敗、9位 (12校中)

皇后杯全日本女子選手権大会関東予選

第6位 * 3年連続の皇后杯進出



第28回関東女子サッカーリーグ1部

現在、2勝1分10敗、7位

柔道

関東学生柔道体重別選手権大会

男子

60kg級	福田 大晟 (体育3)	第3位
66kg級	若狭 智也 (体育4)	第2位
73kg級	旭 征哉 (体育3)	優勝
	西願寺 哲平 (体育4)	第2位
	齋五澤 航介 (体育4)	第3位
81kg級	日野山 剛 (体育4)	優勝
	夏目 湧太 (体育4)	第2位
100kg級	田中 航太 (体育2)	優勝
	長谷川 功齊 (体育3)	第3位
100kg超級	入来 巨助 (体育1)	第2位

女子

63kg級	谷岡 成美 (体育2)	優勝
70kg級	嶋田 沙緒里 (体育4)	第3位
78kg級	平野 友萌 (体育2)	優勝
78kg超級	米川 明穂 (体育3)	優勝

全日本シニア柔道体重別選手権大会

男子

60kg級	白金 宏都 (体育1)	第3位
73kg級	花岡 晴琉 (体育1)	第3位
100kg級	田中 航太 (体育2)	1回戦敗退
100kg超級	入来 巨助 (体育1)	第5位

女子

63kg級	谷岡 成美 (体育2)	優勝
78kg級	平野 友萌 (体育2)	優勝

第62回全国国立大学柔道優勝大会

優勝 (16大会連続36度目)

優秀選手:小畑 大樹 (体育3)

全日本学生柔道体重別選手権大会

男子

60kg級	福田 大晟 (体育3)	3回戦敗退
66kg級	若狭 智也 (体育4)	ベスト8
73kg級	旭 征哉 (体育3)	ベスト8
	花岡 晴琉 (体育1)	3回戦敗退
	西願寺 哲平 (体育4)	1回戦敗退
	齋五澤 航介 (体育4)	1回戦敗退

81kg級

日野山 剛 (体育4)	第3位
夏目 湧太 (体育4)	2回戦敗退

90kg級

戸高 淳之介 (体育2)	1回戦敗退
持田 龍己 (体育2)	1回戦敗退

100kg級

田中 航太 (体育2)	ベスト8
長谷川 功齊 (体育3)	2回戦敗退

100kg超級

川島 深太 (体育1)	1回戦敗退
入来 巨助 (体育1)	1回戦敗退

女子

63kg級	谷岡 成美 (体育2)	ベスト8
70kg級	嶋田 沙緒里 (体育4)	1回戦敗退
78kg級	平野 友萌 (体育2)	準優勝

78kg超級 米川 明穂 (体育3) 準優勝

準硬式野球

東都大学準硬式連盟秋季リーグ戦 (2部)

現在、1勝4敗0分

水泳 (競泳)

第98回日本学生選手権水泳競技大会

<男子>

50m自由形	岩崎 世那 (体育3)	22'62	第4位
	小島 健太郎 (体育4)	23'03	B決5位
200m自由形	宮本 直輝 (体育1)	1'51'21	B決4位
100m平泳ぎ	間島 亮太郎 (体育4)	1'00'00	優勝*初
	徳淵 凜 (体育3)	1'01'58	B決6位
200m平泳ぎ	徳淵 凜 (体育3)	2'12'97	B決1位
	間島 亮太郎 (体育4)	2'13'52	B決5位
100m背泳ぎ	三浦 瑠央 (体育3)	55'03	第3位
200m背泳ぎ	三浦 瑠央 (体育3)	2'02'05	B決4位
100m/タフライ	小林 拓 (体育4)	53'84	B決6位
200m/タフライ	小林 拓 (体育4)	1'58'94	B決4位
4×100mメドレーリレー	三浦・間島・小林・岩崎	3'37'82	第5位
4×100mフリーリレー	岩崎・石川・小島・野副	4'24'48	B決5位
4×200mフリーリレー	宮本・岩城・三浦・徳淵	7'30'48	B決4位

<女子>

50m自由形	土井 香凛 (体育3)	25'63	第6位
	込山 穂 (体育4)	25'65	第7位
	賀部 寿音 (体育2)	26'08	B決8位
100m自由形	土井 香凛 (体育3)	57'08	B決6位
	賀部 寿音 (体育2)	57'13	B決7位
	込山 穂 (体育4)	57'48	B決8位
200m自由形	今村 涼花 (体育4)	2'04'49	B決6位
	中村 美夢 (体育1)	2'02'45	B決3位
400m自由形	中村 美夢 (体育1)	4'18'11	B決5位
100m平泳ぎ	高橋 奈々 (体育2)	1'10'65	B決4位
200m平泳ぎ	高橋 奈々 (体育2)	2'29'83	B決2位
	平林 優花 (体育3)	2'31'66	B決6位
100m背泳ぎ	片桐 珠実 (体育3)	1'04'53	B決8位
200m背泳ぎ	井田 真由 (体育1)	2'17'59	B決4位
100m/タフライ	飯塚 千遥 (体育4)	58'40	優勝*2連覇
200m個人メドレー	三浦 理音 (体育3)	2'20'03	B決6位
400m個人メドレー	山下ひなた (体育1)	4'51'02	第6位
	三浦 理音 (体育3)	4'51'71	第8位
4×100mメドレーリレー	井田・高橋・飯塚・込山	4'08'29	第8位
4×100mフリーリレー	賀部・土井・中村・込山	3'46'26	第6位
4×200mフリーリレー	今村・井田・泉・中村	8'19'56	B決4位

水泳 (水球)

第98回日本学生選手権水泳競技大会

決勝 ●筑波大 11 - 24 ○日本体育大
よって、準優勝

水泳 (飛込)

第98回日本学生選手権水泳競技大会

男子

高飛込	山田 周汰 (体育3)	第2位
3m飛板飛込	山田 周汰 (体育3)	第3位
大学別総合		第3位

女子

高飛込	北村 夢 (体育2)	第6位
3m飛板飛込	北村 夢 (体育2)	第6位
大学別総合		第6位

水泳(アーティスティックスイミング)

第98回日本学生選手権水泳競技大会

ソノ	
佐藤 友花 (体育3)	第2位
デュエット	
川口 愛莉 (体育1)・岡野 日和 (体育1)	第6位
チーム	
筑波大 [佐藤久田, 今隈, 川口, 岡野]	第3位
学校対抗	第3位

漕艇

第49回全日本大学選手権大会

男子シングルスカル	
浅野 優次郎 (M2) 7'58"28	C決勝 5着
男子ペア	
磯野 洋 (体育3)・河野 紘人 (体育3)	7'31"94 B決勝 5着
女子ダブルスカル	
女子沙紀 (障害2)・関口 結衣 (芸術2)	敗者復活敗退

男子ソフトボール

関東学生男子秋季リーグ戦(2部)

2勝0分4敗、第5位(7校中)

女子ソフトボール

第57回全日本大学女子ソフトボール選手権

1回戦 ●筑波大0-2○福岡大
よって、1回戦敗退

第22回関東学生女子秋季リーグ戦(2部)

現在、3勝1敗

体操競技

第76回全日本学生体操競技選手権大会

＜男子1部＞	
団体総合選手権の部	
筑波大 [橋、中山、長崎、松本、末次、平松]	第3位
個人総合選手権の部	
橋 沙芽 (体育4)	82.397 第4位
中山 怜 (体育4)	81.565 第6位
平松 航河 (体育2)	80.632 第12位
長崎 柊人 (体育4)	80.497 第13位
末次 耕太朗 (体育2)	79.398 第25位
松本 悠佑 (体育4)	79.132 第28位
種目別選手権の部	
長崎 柊人 (体育4)	あん馬 4位
中山 怜 (体育4)	平行棒 5位
平松 航河 (体育2)	ゆか 7位
橋 沙芽 (体育4)	ゆか 8位
＜女子1部＞	
団体総合選手権の部	
筑波大 [佐藤、柏木、深沢、坂谷、塙、芹田]	第2位
個人総合選手権の部	
深沢 こころ (体育3)	52.600 優勝
芹田 三果子 (体育1)	51.798 第6位
佐藤 涼香 (体育4)	51.565 第7位
柏木 淑里 (体育3)	49.466 第16位
坂谷 りんね (体育2)	49.165 第18位
田島 やまぶさ (体育1)	48.699 第20位
塙 颯香 (体育2)	48.032 第26位
種目別選手権の部	
佐藤 涼香 (体育4)	跳馬 1位
坂谷 りんね (体育2)	跳馬 2位
芹田 未果子 (体育1)	
跳馬 2位、段違い平行棒 1位	
深沢 こころ (体育3)	
段違い平行棒 2位、跳馬 4位、平均台 8位	
柏木 淑里 (体育3)	跳馬 8位、ゆか 8位
田島 やまぶさ (体育1)	跳馬 7位

体操(ラート)

第17回全日本学生ラート競技選手権大会

団体総合
筑波大A [森本、我喜屋、黒澤、座間味]

筑波大B [嵯峨、小浜、中本、宮治]	第4位
男子個人総合	
船橋 直人 (2年)	第6位
女子個人総合	
森本 朝子 (障害4)	優勝
我喜屋 佑衣 (国際3)	第4位
黒澤 瑠香 (体育2)	第5位
小浜 華加 (体育1)	第6位
女子個人種目別	
森本 朝子 (障害4)	直転 優勝、斜転 優勝
我喜屋 佑衣 (国際3)	斜転 3位、跳躍 3位

優勝*5連覇

卓球

秋季関東学生卓球リーグ戦(1部)

男子1部	2勝5敗、第6位(8校中)
女子1部	1勝6敗、第8位(8校中)

ダンス

アーティスティック・ムーブメント・イン・トヤマ2022

筑波大 作品名「イスを継ぐ」 特別賞受賞

トライアスロン

日本学生トライアスロン選手権観音寺大会

距離:スイム1.5km-バイク40km-ラン10km

男子	
小林 颯人 (物理2)	2:12'43" 第52位
奥田 さわ (M2)	2:20'33" 第9位
佐藤 佳乃 (社工3)	2:26'54" 第21位
五十嵐 咲季 (生物3)	2:36'45" 第37位
佐藤 未来 (国際4)	2:52'38" 第44位

軟式野球

全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会

男子	
1回戦 ●筑波大0-3○大阪大	
よって、1回戦敗退	
女子	
1回戦 ●筑波大0-3○大阪体育大	
よって、1回戦敗退	

馬術

第14回北関東学生馬術大会

団体総合	筑波大	優勝*12連覇
馬場馬術競技A2課目2013		
熊木 秀佐 (国際1) & シャンディールアライン	優勝	
総合馬術競技1スター2021		
古田 快達 (比文2) & 桐翠	優勝	
花木 枝里奈 (国際1) & ホクラン	第2位	
林田 侑樹 (応理2) & シャンディールアライン	第3位	
馬場馬術競技L1課目2013		
富田 雄大 (応理3) & 桐鳳	優勝	
須郷 陽 (社会3) & 桐翠	第2位	
青木 柚子 (人文3) & 桐翠	第3位	
クロスバー飛越競技		
近藤 京太郎 (エシス1) & 桐翠	優勝	
大石 菜々 (看護1) & 桐翠	第2位	
バーティカル H70cm		
青木 柚子 (人文3) & 桐翠	優勝	
小堀青飛越競技 H90cm		
花木 枝里奈 (国際1) & ホクラン	優勝	
須郷 陽 (社会3) & ホクラン	第2位	
古田 快達 (比文2) & 桐翠	第3位	

男子バスケットボール

第98回関東大学リーグ戦(1部)

現在、9勝8敗、6位(14校中)
天皇杯日本選手権大会<1次ラウンド>
2回戦 ●筑波大87-91○山形クベラ
よって、2次ラウンド進出ならず

女子バスケットボール

第72回関東大学女子リーグ戦(1部)

現在、6勝2敗、3位(10校中)
皇后杯日本選手権大会<1次ラウンド>
2回戦 ○筑波大80-62●山梨学院大
よって、2次ラウンド進出(12/3~4)
FIBA U18女子アジア選手権大会2022
八十川ゆずゆ (体育1)、古谷 早紀 (体育1)
U18日本代表 第3位

バドミントン

第65回東日本学生バドミントン選手権

男子団体	
決勝 ●筑波大1-3○日本大	
よって、準優勝	
女子団体	
決勝 ○筑波大3-1●北翔大	
よって、優勝	
男子シングルス	
永渕 雄大 (体育2)	準優勝
李 正 (体育3)	ベスト16
中村 舜 (体育2)	ベスト16
女子シングルス	
佐川 智香 (体育4)	第3位
中原 鈴 (体育1)	ベスト8
女子ダブルス	
溝口 なつめ (体育4)・染谷 菜々美 (体育3)	準優勝
大石 悠生 (体育4)・神山 和奏 (体育1)	ベスト16
中原 鈴 (体育1)・広瀬 未来 (体育1)	ベスト16



関東大学バドミントン秋季リーグ戦

男子1部	2勝3敗、第5位(6校中)
女子1部	4勝1敗、優勝(6校中)

最優秀選手賞:佐川 智香 (体育4)

男子バレーボール

第21回アジアU20男子選手権大会

牧 大晃 (体育1) U20日本代表 13位
秋季関東大学男子1部リーグ戦
現在、7勝2敗(12校中)

第77回国民体育大会

筑波大 (茨城県代表)

優勝(初)

女子バレーボール

秋季関東大学女子1部リーグ戦

現在、8勝1敗、1位(12校中)
2022女子バレーボール世界選手権
佐藤 淑乃 (体育3) 日本代表 ベスト8

男子ハンドボール

関東学生秋季リーグ戦(1部)

6勝3敗、第3位(10校中)
優秀選手賞:佐藤 陽太 (体育4)
特別賞:朝野 輝英 (体育3)

女子ハンドボール

関東学生秋季リーグ戦(1部)

6勝1敗0分、準優勝(8校中)
優秀選手賞:篠 愛里 (体育4)・高橋 弥那 (体育3)
特別賞:徳田 百合子 (体育4)
優秀新人賞:伊藤 結衣 (体育1)

フィールドホッケー

秋季関東学生ホッケーリーグ(男子3部)

現在、0勝0分3敗、4位(5校中)

ライフセービング

全日本学生ライフセービング選手権

ビーチスプリント女子	
佐川 陽香 (看護1)	予選 5up7位
ボードレスキュー 男子 (リレー)	
田中 健士 (物理1)・石川 大智 (資源2)	予選 3up6位
ボードレスキュー 女子 (リレー)	
遠藤 明日香 (看護1)・木村 瑞希 (比文2)	予選 4up6位
オープンウーマン女子	
木村 瑞希 (比文2)・高橋 弥那 (体育3)	決勝 14位
3×1kmビーチランリレー女子	
木村 瑞希 (比文2)・遠藤 明日香 (看護1)・佐川 陽香 (看護1)	13位



全日本ライセービング選手権大会

木村 瑞希 (比文 2) 予選10位8up
ボードレース女子 準決勝19位16up
サーフレース女子 決勝7位
2kmビーチラン女子
田中 健士 (物理 1) 準決勝28位20up
2kmビーチラン男子

ラグビー

関東大学対抗戦Aグループ

現在、0勝3敗

男子クロスカントリースキー

第9回男子21歳以下クロスカントリースキー世界選手権
種村 魁 (体育 4) U21日本代表 第5位



第34回関東地区学生リーグ戦(2部A)

現在、3勝0敗1分

女子クロスカントリースキー

第34回関東地区学生リーグ戦(3部A)

現在、2勝0敗

陸上競技

第91回日本学生陸上競技対校選手権

<男子>

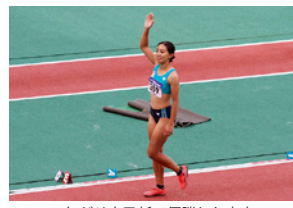
男子総合	第3位		
200m	鶴澤 飛羽 (体育 2)	20'54	優勝
400m	今泉 堅吾 (体育 3)	46'79	4位
800m	二見 優輝 (体育 2)	1'49'18	6位
3000mSC	松村 匡恒 (体育 4)	8'54'92	7位
走高跳	藤井 稔真 (体育 4)	2m10	3位
棒高跳	古澤 一生 (体育 2)	5m30	2位
	内山 朋也 (M2)	5m30	4位
4x100mR	辰巳 (4)-池田 (3)-鶴澤 (2)-青藤 (M2)	38'86	優勝
		3'04'43	優勝 (13年ぶり)
4x400mR	菅野 (2)-吉川 (3)-伊藤 (4)-今泉 (3)		

★筑波大の男子リレー 2冠は40年ぶり！

<女子>

女子総合	準優勝		
100m	三浦 由奈 (体育 3)	11'85	5位
200m	三浦 由奈 (体育 3)	24'43	7位
800m	川島 実桜 (体育 2)	2'09'30	6位
3000mSC	小松 夕夏 (体育 1)	10'20'29	2位
	本庄 悠紀奈 (体育 4)	10'29'66	4位
走高跳	八重樫 澄佳 (体育 2)	1m70	6位
棒高跳	塩崎 泉 (体育 4)	3m70	8位
走幅跳	高良 彩花 (体育 4)	6m50	優勝

※35年ぶり大会新、日本歴代9位記録



4年ぶり自己新で優勝した高良

三段跳	高良 彩花 (体育 4)	13m14	2位
	佐伯 舞子 (体育 3)	12m57	7位
円盤投	西山 藍那 (体育 3)	46m82	4位
	アレンバル・ティオ (M1)	45m13	6位
ハンマー投	渡邊 ももこ (体育 4)	61m15	2位
やり投	兵藤 秋穂 (M1)	53m23	4位

第28回関東大学女子駅伝対校選手権大会

<総合成績>

筑波大	1:58'35"	第8位
<区間成績>		
1区 (4.3km)		
櫻原 沙紀 (体育 3)	14'01"	区間6位
2区 (3.0km)		
川島 実桜 (体育 2)	10'01"	区間6位
3区 (8.6km)		
小松 夕夏 (体育 1)	29'55"	区間10位
4区 (5.6km)		
市川 碧花 (体育 1)	19'33"	区間9位
5区 (7.3km)		
本庄 悠紀奈 (体育 4)	25'59"	区間11位
6区 (5.6km)		
澤井 柚葉 (体育 3)	21'00"	区間4位

クライミング

IFSCクライミングワールドカップ2022

森 秋彩 (体育 1)	
リード第5戦・コベル大会	
女子リード	優勝 (初) 日本女子2人目
リード第6戦・エディンバラ大会	
女子リード	優勝
B&Lコンバインドいわて盛岡大会	
女子複合	優勝

※該当期間の試合結果多数のため、抜粋して掲載しています。全結果はこちらをご覧ください。

最新の
試合結果



つくばスポーツOnline <https://tsa.tsukuba.ac.jp/>

W杯3連勝！森 秋彩 ～登る背中からクライミングへの愛を～

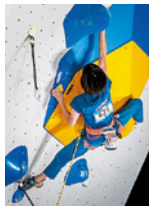
9月のクライミングワールドカップ(リード競技)で初優勝を飾り、翌週のW杯でも、東京五輪金メダリストを抑えて2連勝。10月にはボルダリング&リード複合のW杯でも見事優勝し、今季出場したW杯3戦全てで優勝する強さを見せました。大好きなクライミングと共に目標に向かって邁進する森さんにお話を伺いました。

一小学生時代から国内外で輝かしい成績を残してきた森さん。今年、シニアの国際大会で大きな成果を出したことについて毎回課題(コース)の傾向が異なるシニアの国際大会において良い成績を残し続けることは自分にとってかなり厳しかったのですが、短所であるダイナミックな動きの反復練習等の成果から以前よりも幅広いムーブ(体の動かし方)に対応できるようになったことで結果的に3連覇でき、今までやってきたトレーニングが間違っていなかったのだと自分の中で自信になりました。



一スポーツクライミングの魅力と、森さんの登りの「ここを見て！」注目ポイントを教えてください

魅力はたくさんありますが、登りきれた時の達成感や、同じ課題でも攻略ムーブが違い、選手一人一人の個性を感じられるところだと思います。私は他の選手と比べて小柄ということもあって他の選手との攻略法の違いに注目していただきたいです。また、登っている背中から私のクライミングに対する愛を感じ取っていただきたいです。



一大学で学びたい&楽しみたいこと、クライミングにおける今後の目標は？

体育専門学群に通い始めてからはスポーツを哲学や心理学、社会学など様々な角度から探求してきました。これからはそのようなスポーツが社会や経済等にどのような働きかけをしているのか、また日常的にスポーツを行うメリットについて考えを深めたりしてより幅広い視野でスポーツを見つめたいです。そして自分自身も今まで以上に様々な角度、広い視野で見つめて改善を重ね、パリ五輪出場という夢に向かって日々努力していきたいと思っています。

■競技としてのスポーツクライミングとは？

「リード」「ボルダリング」「スピード」の3種目がある。森さんが得意とするリードは、高さ12m以上の壁で制限時間6分での到達高度を競う。東京五輪で初めて追加種目に採用(=3種目の複合)。パリ五輪では、ボルダリング&リードの複合と、スピード種目で実施。

■2024パリ五輪への道

出場枠は、来年8月の世界選手権、大陸予選(23年9-12月)、五輪予選大会シリーズ(24年3-6月)で争われる。複合の総出場枠は男女それぞれ20選手、各国の派遣上限は最大で男女各2人。

◎ 森 秋彩 Mori Ai 体育専門学群1年/茨城県出身

<主な競技成績>

- ・2016 ジャパンカップ(リード) 優勝(12歳、歴代最年少)
- ・2017 世界ユース選手権(リード) 優勝
- ・2019 世界選手権(リード) 3位(15歳、日本人最年少メダル)
- ・2021 ジャパンカップ(ボルダリング) 優勝
- ・2022 ジャパンカップ(リード) 3連覇
- ・2022 ワールドカップ リード優勝(2大会)、複合優勝(初)

牛久球場の応援席が筑波の「フューチャーブルー」で超満員に 硬式野球部と筑波ファンが心を一つに、試合にも快勝！

2022年10月2日(日)、筑波大学硬式野球部は、首都大学野球連盟秋季リーグ戦「明治学院大学」と対戦し、見事に6-0で快勝しました。

この試合は、硬式野球部にとって実に“3年ぶり”となるホームゲームとして開催され、当日は筑波大生を始め、野球部関係者、地域住民を含め300人を超える筑波ファンが球場に会場し、チームを応援しました。

テーマは『一心』

硬式野球部の今季スローガンは「一心」。ホームゲームでもチーム関係者だけでなく、スタンドを埋め尽くした筑波ファン全員が、一つ一つのプレーに共に、一喜一憂する、まさに「一心」を体現したホームゲームとなりました。



芸術専門学群「ツクリエイト」がデザインを担当

今回のホームゲーム開催に向けて、芸術専門学群の学生で結成されたクリエイイトチーム「ツクリエイト」が、ポスターをはじめ、告知チラシ、応援グッズ(ハリセン、Tシャツ)のデザインを担当しました。

デザインは、硬式野球部のホームゲーム担当学生とツクリエイト学生が何度も議論を重ねて制作したものです。

「ホームゲーム」をハブに、筑波大学の様々な専門性を持つ学生がお互いの専門性を認め合い、共通のゴールに向けて、知恵を出し合い、新たな価値を創り上げた事例となりました。

【箱根駅伝予選会】総合15位で予選突破ならず、皆川は連合チームに選出

10月15日に開催された第99回箱根駅伝予選会において、3年ぶりの本戦出場を目指した筑波大学は健闘空しく15位となり、本戦出場権を得る10位に入ることができませんでした。個人では、15位（日本人8位）と健闘した福谷颯太（体育4）に続き、チーム2番手となった皆川和範（物理3）が、関東学生連合チームに選出されました。本戦に出場する選手10人に入り、2023年正月に筑波大学のユニフォームで箱根駅伝の舞台に立つことを目指します。多くのご支援と応援に対する感謝の気持ちを胸に、来年は予選突破を果たせるよう頑張っていきます。

<総合成績>

筑波大 10時間53分50秒 15位 / 43校中 ※予選通過ならず（10位まで通過）

<個人成績>ハーフマラソン（21.0975km）

福谷 颯太（体育4）	1:03'05"	15位	長井 隆星（体育3）	1:06'18"	220位
皆川 和範（物理3）	1:04'10"	63位	長谷川嵩汰（医療3）	1:06'28"	229位
小林 竜也（体育4）	1:04'37"	88位	吉田 海渡（体育2）	1:06'32"	235位
塚田 萌成（医学3）	1:04'45"	109位	藤原潤乃佑（体育3）	1:08'23"	337位
平山 大雅（体育3）	1:04'46"	112位	小山 洋生（体育1）	1:08'35"	347位
國井 辰磨（体育4）	1:04'46"	113位	五十嵐優汰（体育4）	1:10'05"	391位



©月刊陸上競技
関東学生連合チームに選出された皆川

●福谷 颯太（体育4年／駅伝主将）

「当日は予定よりも涼しいコンディションになったものの、湿度が高くタフなレースとなりました。目標タイムには届きませんでしたが、想定していたレース展開に持ち込み、その展開で勝ち切り目標の順位でゴールできたのは個人結果として非常に良かったと思います。しかし、チームとしては目標には及ばない結果となってしまいました。」

一選手として、駅伝主将として箱根駅伝に出場できず悔しさを感じています。しかし、箱根駅伝に出場するために4年間頑張ってきたことや、多くの人に支えてもらいながら競技に取り組んでこられたこの挑戦は自分の人生にとって大きな財産となりました。今後もチームの応援の程よろしくお願いたします。」



好走した福谷

●皆川 和範（物理3年）

「予選会には、今までの練習を信じて臨みました。序盤で息が上がりましたが、夏合宿のつらく厳しい練習を乗り越えたことを思い出し粘り切る走りができました。当日に持てる力は全て出し切ることができました。しかし、チーム、個人ともに他の大学と戦えなかったことが非常に悔しいです。この悔しさを含め来年に向けて多くの経験を得ることもできました。この経験を生かしていきたいと思います。また、私は関東学生連合に選出されました。筑波大学の練習が他の大学に通用することを箱根駅伝において示すためにも、地に足をつけ練習に取り組んでいきます。応援ありがとうございました。」



応援に駆けつけてくれた応援部 WINS の皆さん

弘山監督のレポート&
全選手のコメント掲載中

筑波大学箱根駅伝
復活プロジェクトHP
<http://tsukuba-hakone.win/>



●筑波大学駅伝サポーター募集中

2012年から始動した箱根駅伝復活プロジェクトは、TSA特定基金やクラウドファンディングを始め、多くのご支援と応援を賜りながらチームは成長を遂げてきました。今夏から、ご支援者様と深く関わり長く応援いただく継続寄附「学生と共に歩んでいただくサポーター」の募集を開始いたしました。詳細はQRコードよりご覧ください。



筑波大学スポーツサポーターの皆様(2022年7-9月にご寄附を頂いた皆様)

TSAでは、特定基金によるご寄附をお願いしております。支援先は、TSA全体、各運動部（44団体）、TSAトレーナーチーム、箱根駅伝復活プロジェクトから選択いただけます。

ご寄附いただいた皆様には、感謝の意を込めてご芳名を掲載しております。（ご希望者のみ）

小川良子様 村上ゆかり様 脇田建介様 佐野良夫様 野崎誠様 渡邊徹様 阿江通良様
野呂裕樹様 ヘリヤー万紀子様 宇佐美慧様 中川知秋様 広瀬直紀様 小林勝法様
松村一夫様 猿渡篤様 吉田公彦様 岩崎充益様 藤由紀様 山田哲也様（順不同）

※筑波大学特定基金につきましてはTSAウェブサイト <https://tsa.tsukuba.ac.jp/supporter/> をご覧ください。

記事URL：つくばスポーツオンライン

<https://tsa.tsukuba.ac.jp/>

編集協力：筑波大学アスレチックパートナー

<https://www.tsukubaowls.com/>



■発行元：筑波大学スポーツアソシエーション（TSA）

URL：<https://tsa.tsukuba.ac.jp/>

TEL：029-853-8093